

平成22年度 機青連納涼会

8月7日 於 東観荘

㈱万城製作所 佐藤 拓哉

来期機青連が30周年を迎えるにあたり、機青連の歴史を造りあげてこられた会員の方々、その機青連スピリッツを引継ぐ会員の方々、そして新しく機青連の一員として入会された会員の皆様が一同に集まり、座敷で寛ぎながら会員同士(ALL KISEIREN)が話し易い環境となるよう設えさせて頂きました。

今回の会では、世代を超えた絆を深めてこの後にも続く深い繋がりを作って頂き、機青連の会員同士であることがいかに強いネットワークであるのかを感じる場となるよう企画しました。歓談時間を多くとったことで、今回ご参加頂きました「35名」の皆様には、趣旨どおりの会になったことと思います。

乾杯のご発声を頂きました山本精工㈱山本副社長からは、「現在は京都試作ネット代表理事を務めていますが機青連が原点であり、会の中では常に叱咤激励を受けてもまれています。若い皆さんはどんどん行動して失敗や成功、先輩方からの叱咤激励を受けて成長して下さい。」とのお話を頂きました。卒業された先輩にも出席して頂き、一緒に話しができることが機青連のすばらしいところだと思います。先輩は若手と、若手は先輩と、同じお酒を飲める機会が多いわけではないので貴重な時間となったのではないのでしょうか。

また歴代代表幹事である㈱セイワ工業の東専務、㈱辻製作所の辻社長、城陽富士工業㈱の江森専務に「30周年」をテーマに周年事業への想いをお話しして頂き、機青連をもっと広く外部に発信し、発展成長していくことを期待していると熱く語って頂きました。その応えに名高代表は、盛大な開催となるように実行委員会はじめ幹事一同がんばっていく所存でありますと力強い言葉で締めくくり、会は盛況の中終えることができました。

